

# 第三松江小学校応援団実践報告書

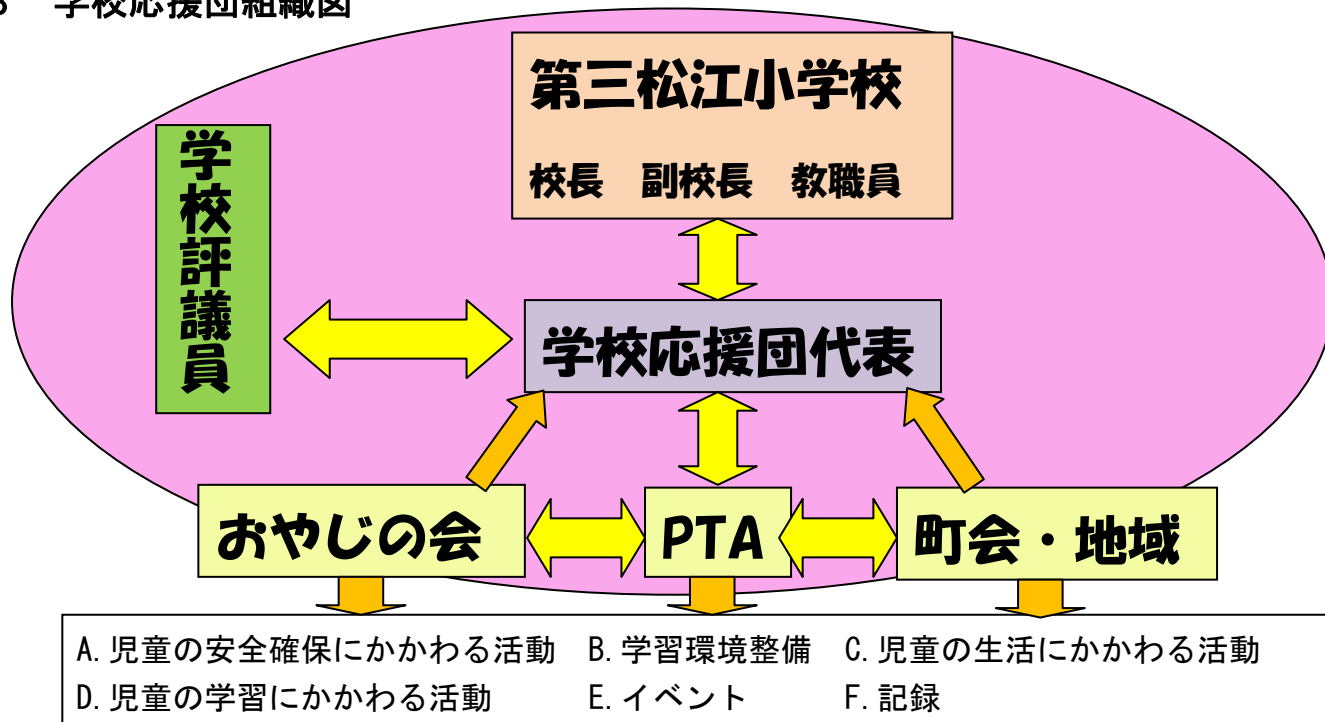
## 1 校長及び代表者氏名

第三松江小学校長 北山 元久  
 代表 椎橋 治美

## 2 今年度の活動内容

応援団の種類	活動内容
A. 児童の安全確保にかかわる活動	① 登校：集団登校・下校、定点での見守り ② 下校：平常時、緊急時の見守り ③ 放課後：公園等での見守り 夜間の声かけ ④ 運動会、学校公開、行事等での校舎内外巡視
B. 学習環境整備	① 校庭（第2校庭）の草取り、植栽の剪定
C. 児童の生活にかかわる活動	① 登下校時のあいさつの声かけ ② 生活リズム：夏休みラジオ体操
D. 児童の学習にかかわる活動	① 図書：読み聞かせ、図書室整備 ② 体験・見学：税金の話、ドッチビー、演劇、小松菜農家 ③ 漢字能力検定
E. イベント	① PTA（納涼お楽しみ会） ② おやじの会（おやじんぴっく、宿泊会、おやじランド、6年生を送る会） ③ 町会（運動会、盆踊り、餅つき）
F. 記録	① 撮影：行事等の写真、VTR撮影とDVD化

## 3 学校応援団組織図



## 4 今年度の成果と今後の課題

### <成果>

#### (1) 常時活動の定着と充実

登下校時の見守り、行事等の際の学校内外の安全確保、読み聞かせ、校庭の草取り等、昨年度より常時行っている活動がより定着し、内容もさらに充実してきた。6月の金環日食時の登校補助や1月の積雪時の除雪等の安全確保の対応など、子供たちのために今何が必要かを保護者や地域が自主的に判断し、臨機応変な対応が可能になってきた。

#### (2) 縦横のつながりの強化

毎年9月に実施している第2校庭の除草作業では、学校、PTA、保護者、地域そして子供たちも含め、全員で心一つに作業を進める姿が見られた。予定では3時間ほどかかる予定であった作業も、今年度は2時間程度で終了した。一部の限られたメンバーで行うのではなく、全員が一体となって一つの作業に取り組む「学校応援団」としての理想的な姿が見られた。また、今年度より、学校応援団の活動が一つの契機となり「PTA・OB会」が発足した。従来の横のつながりに加え、応援団長を含めた歴代のPTA会長や役員が縦に連携を強化することにより、今後、活動範囲や内容に広がりを加えることが可能となった。

### <課題>

「実際、学校ではどんな支援（応援）が必要なのだろうか？」時折聞かれる保護者や地域の方からこうした声を受け、今後は「この教科の、この授業で、このような支援をお願いしたい」といった応援団へのより具体的な希望や要望を積極的に発信していく努力をしていく必要があると考える。具体的には、ホームページや学校、学年だより等を通じ、支援を希望する内容や授業等の実施時期などを事前に周知する。また応援団代表と副校長が連絡を密にするとともに、PTA運営委員会、おやじの会の定例会等といった常設の連絡会も適時利用して情報の発信・周知を図っていく。学校が、これまで以上に応援団の側にも立って考えていくことにより、新たな地域の人材を引き出し、より充実した内容にしていくことが可能となる。

来年度、本校は創立55周年を迎える。それに際し、学校の歴史を振り返り、まとめる活動についても、ぜひ応援団の力を借りて、愛校心を一層培っていききたい。

## 5 代表より

今年度の活動を振り返り、まず改めて、応援団員である保護者、PTA、おやじの会、地域や町会の皆さまにお礼を申し上げます。今年度、大きな事故や事件もなく、安全に子供たちが登校し、学習できたのも皆様のお力のおかげだと思っております。まだまだ応援団の組織としては未熟な点も多いのですが、今後ともぜひ「子供たちのための活動」にご支援とご協力をいただければと思います。

## 6 学校長より

応援団長の椎橋治美さんをリーダーとして、一年間、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。本校の応援団活動のよいところは、PTA、おやじの会、地域や町会の連携が素晴らしく、そこに全く垣根のない点にあります。この一体感こそが、本校の教育活動を根底から支える大きな力になっていると常々思っております。どうぞこれからも引き続きご協力よろしく願いいたします。